

全国戦没者追悼式に参列して

マーシャル方面遺族会会長 高林芳夫

終戦から 75 年を迎えた令和 2 年 8 月 15 日、政府主催の全国戦没者追悼式が東京九段の日本武道館で  
挙行されました。

式典には全国から遺族の代表が参列しましたが 今年には新型コロナの影響で式典の規模が例年と全く  
異なりました。

参列者はおおよそ 550 名と例年の 1 割以下でした、遺族代表も 20 の県・府が参加を断念したとか・・・

式典では天皇皇后両陛下が菊の花で飾られた式壇にご臨席になられ、国歌が演奏されました

コロナの影響で斉唱はせず演奏のみとなりました

安倍首相の式辞のあと 12 時の時報を合図に参列者全員で 1 分間の黙とうをささげました

そのあと天皇陛下がおことばを述べられました

続いて衆議院議長・参議院議長・最高裁判所長官・遺族代表が追悼の辞を述べました

天皇皇后両陛下がご退席になられる

内閣総理大臣、遺族代表、青少年代表、来賓、地方公共団体代表と献花が続き、最後に厚生労働大臣が  
献花をして式典は終了しました。

「天皇陛下のおことば」

本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけが  
えのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

終戦以来七十五年、人々のたゆみない努力により、今日の我が国の平和と繁栄が築き上げられましたが、多くの  
苦難に満ちた国民の歩みを思うとき、誠に感慨深いものがあります。

私たちは今、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新たな苦難に直面していますが、私たち皆が手を共  
に携えて、この困難な状況を乗り越え、今後とも、人々の幸せと平和を希求し続けていくことを心から願います。

「

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の  
禍が繰り返されぬことを切に願い、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、  
世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

